

みゆきぎする神々

荒穂の神の御神幸

みゆき

秋の実りの中を御神
 幸される荒穂の神

平安時代の記録に残
 る荒穂神社

荒穂の神々の御神幸
 は、室町時代の記録
 から見る事ができ
 ます。

今年は、9月22日が秋分の日。この日に、荒穂神社の御祭神である荒穂大明神・瓊瓊杵尊様の神々が、秋の実りと民の暮らしをこぞご覧になるため、御神幸されます。

秋の実りの中、荒穂神社を神輿に乗り早朝出立され、潮井川にかかる潮井橋のたもとに掲げられた大しめ縄の下をくぐり、人々が暮らしの世の中へと御神幸されます。目的地は、鎮斎隈（鎮西隈）にあるお仮殿です。お仮殿までの約2kmの道のりの中、沿道には一年の無事を感じ、これからの無病息災を願い、神輿くぐりをするために多くの方々が出迎えます。



■潮井川を渡る荒穂の神様



■神輿くぐりの様子

秋の実り、人々の暮らしが、そして多くの方々の出迎えと神輿くぐりを終えられた神々は、御旅所であるお仮殿へと到着されます。

そして午後、お仮殿前で、4つの伝統芸能が奉納されます。



■お仮殿に入られる荒穂の神さま

■ 御神幸された荒穂の神に奉納される伝統芸能 ■

災払▶

仁蓮寺の少年、青年によって奉納され、棒術で災いを払いのける役割を担います。【右写真は少年たちによる演舞】



◀ 鉦風流

西長野の総勢 50 人ほどで奉納され、荒穂の神々の御神幸を人々に伝えます。

獅子舞▶

向平原、辻、引地、一井木、田中の人々総勢 50 人ほどで奉納されます。二人の子どもが演じる獅子釣りが荒ぶる獅子を操ります。



◀ 大名行列

住吉、不動寺、オノ上の人々によって奉納され、立傘、台傘、白羽熊、挟箱、黒羽熊で舞う大名行列です。

午後に入り、神さまへの奉納芸能の始まりを、西長野の人々が奏でる鉦の音が、町内に鳴り響き知らせます。

御神幸され、秋の実りと人々の暮らしをこ覧になった荒穂の神さまへ、四つの芸能が奉納されます。

奉納芸能がすべて終わる午後3時ごろ、荒穂の神さまは神輿に再びのられ、荒穂神社本宮へと帰られます。

お上りの道々に、神輿くぐりを待つ人々が再び集い、一年の無事への感謝と次の一年の無病息災を祈り、神輿くぐりが執り行われるのです。

御旅所であるお仮殿を出立され荒穂神社本宮へお着きになる頃、荒穂神社とかつて本宮があったと云われる磐座^{いわく}タマタマ石がある基山^{きざん}山頂が夕日に照らされ秋空の晴天に映える姿を見ることが出来ます。



■ 磐座がある基山を見上げる荒穂の神さま



■ 獅子組の「祝おうて、三度」の唱和で大祭の一日は結びとなる

人々に受け継がれてきた荒穂神社の秋の大祭・御神幸祭。一年に一度の大祭に集い、互いの無事を確認するお祭りでもあります。皆さんも集い、互いの無事をこのお祭りで確認し合つ、そんな行事に参加してみませんか。

■おまつりサポーター募集

基山町では、荒穂神社の御神幸祭をお手伝いしていただく「おまつりサポーター」を募集します。基山に住んだ記憶として、一年の思い出として、室町時代からつながる歴史ある伝統行事に参画してみませんか。

問申 教育学習課 ふるさと歴史のまち推進係

☎ 92-2200

✉ furusato-2@town.kiyama.lg.jp

■申込方法

電話またはメールで、①氏名、②住所、③連絡先をお伝えください。
※メールの場合は、受付確認後に返信いたします。

※申込締め切り：令和6年9月6日（金）午後5時

総代会へお伝えする必要から締め切り日を設けておりますが、適宜対応いたします。

■サポート内容

内容	対象 募集人数	集合日時	場所
わらすぐり	5人程度	9月9日（月） 午前8時～正午ごろまで	JA さが基山地区 共同乾燥施設 （宮浦共乾）
しめ縄づくり	10人程度	9月16日（月） 午前8時～ 午前中にしめ縄をつくり、午後に潮井橋 ならびにお仮殿に大しめ縄を掲げます。	
お祭り当日のお役目	10人程度	9月22日（日 秋分の日） お下り：午前6時～9時 お上り：午後2時～6時	お下り：荒穂神社本殿前 お上り：お仮殿前
後片付け	10人程度	9月23日（月 振替休日） 午前9時～正午ごろまで	お仮殿

※今年から、おまつりサポートは男女問いません。この他の詳細は、必要に応じて応募いただいた方に直接お伝えいたします。

しめ縄用のさしわらづくり



潮井川への大しめ縄張り

お祭り当日の神輿先導者



しめ縄打ち



お仮殿の大しめ縄張り



お祭り当日の神輿担ぎ

■きやまの民俗芸能展V

みゆきする神々 開催

基山の秋の実りと人々の暮らしぶりをご覧になるため御神幸される神々を紹介しています。
是非、ご覧ください。

場所：基山町立図書館 郷土資料コーナー

会期：令和6年9月14日（土）～11月3日（日）

●荒穂の神々 ●宝満の神 ●老松の神 の御神幸を紹介します。

■荒穂神社の「鼻高面」
お祭り当日、神輿先導者が持ち、神輿を導きます。

右上：猿田彦大神 左上：天鈿女命
天孫降臨の際、瓊瓊杵尊を先導した神々です。



御神幸祭 会場周辺図

車で来場の場合は、臨時駐車場をご利用ください
P1 基山町役場 / P2 福祉交流館

無料臨時バスをご利用ください

JR 基山駅や各臨時駐車場と、会場の御仮殿との間で、無料の臨時バスを運行します。

運行区間

- ① JR 基山駅
- ②③④⑤ けやき台 各公民館前
- ⑥ 基山町役場
- ⑦ 福祉交流館

お仮殿
(憩の家)



① JR 基山駅→② 2 丁目公民館→③ 3 丁目公民館→④ 4 丁目公民館→⑤ 1 丁目公民館
→⑥ 基山町役場→お仮殿→⑦ 福祉交流館→① JR 基山駅

時刻表

	① JR 基山駅	② 2 丁目公民館	③ 3 丁目公民館	④ 4 丁目公民館	⑤ 1 丁目公民館	⑥ 基山町役場	お仮殿	⑦ 福祉交流館
1 便	11:30	11:35	11:37	11:39	11:41	11:46	11:50	11:54
2 便	12:10	12:15	12:17	12:19	12:21	12:26	12:30	12:34
3 便	12:50	12:55	12:57	12:59	13:01	13:06	13:10	13:14
4 便	13:30	13:35	13:37	13:39	13:41	13:46	13:50	13:54
5 便	14:10	14:15	14:17	14:19	14:21	14:26	14:30	14:34
6 便	14:50	14:55	14:57	14:59	15:01	15:06	15:10	15:14
7 便	—	—	—	—	—	—	15:30	15:34

※交通事情により、ダイヤに遅れが出る場合があります※